

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 26 年度

実施活動内容・成果(到達点)	<p>実施活動内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林境界の明確化・・・集落等での座談会の開催及び森林内での境界杭を設置した。 ○高性能林業機械、木材加工施設装置・・・入札の実施、導入が図られた。 ○貯木場、チップ製造施設・・・山上工業団地の隣接地を造成、整備された。 <p>成果(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林境界の明確化・・・24.49ha境界の明確化が図られた。 ○高性能林業機械、木材加工施設装置・・・グラブ付トラック、グラブ、4面かんな盤が導入された。 ○貯木場、チップ製造施設・・・貯木場1箇所(造成1ha、舗装0.5ha)、チップ製造施設1箇所(造成舗装1ha、管理棟・倉庫棟、計量器、チップ機、グラブソー、フォークローダー、フォークリフト)
----------------	--

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	本事業により間伐施業や林業事業体の機械等の整備が進められ、森林所有者の関心も徐々に高まっているが、材価の低迷、負担過大等により、未整備森林はまだ多くある。本町の林業振興、未整備森林の施業実施、地球温暖化への貢献のため必要な事業である。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	国の要綱、要領等に基づき行っており、林業振興、未整備森林の施業実施、地球温暖化への貢献のために必要な事業である。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	国の事業として実施しており、必要な事務を行っている。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	本事業は平成26年度までであり、平成27年度もほぼ同じ事業が実施されるが、その事業も平成27年度限りであり、これらの事業を有効活用して施業実施のための機械整備等を進め、林業振興と積極的な施業実施を推進しなければならない。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	本事業により間伐や間伐材搬出量が増加しており、また搬出された間伐材の集材施設及びチップ製造施設等も整備され、林業振興が図られている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
2	1、拡充する	80点以上	79	本事業により森林所有者の関心が高まり、間伐施業・間伐材の搬出量が増加し、間伐材利用促進のための加工施設や機械装置も整備が進み、林業の振興が促進されている。これにより森林の荒廃を防ぎ、地球温暖化防止の一助となっている。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	2	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
2	1、拡充する	間伐実施のための森林作業道の開設及び間伐施策、森林境界の明確化などが行われている。八頭町内では、間伐等適期となっている山林が多い。また、機械化による間伐作業の向上と間伐材等の貯木場や木材加工の設備投資により6次産業化へつなげる取り組みが行われている。今後も森林所有者の事業への理解と作業道の開設、間伐等を実施されたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

7 課題及び今後の方向性

課題	<p>事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所</p> <p>平成28年度以降の県補助等財源確保及び事業の継続と、間伐材の利用促進。</p>
今後の方向性	<p>上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか</p> <p>国に対し事業継続を要望し、また関係機関と協力連携し、搬出間伐材の利用促進を図る。</p>